

東京辰巳アイスアリーナ（仮称）

「施設運営計画（中間まとめ）」

オリンピック・パラリンピック準備局

令和3年9月

- 東京辰巳国際水泳場は、水泳の普及・振興を図る中心拠点として、これまで、国際大会を含む多くの大規模大会を開催し、また、東京2020大会では水球の競技会場となり、熱戦が繰り広げられました。
- 東京辰巳国際水泳場はこれまで、有識者等の意見も参考にしながら、近接地の東京アクアティクスセンターとは異なる機能を有するスポーツ施設としての活用を検討してきましたが、利用ニーズが高いアイスリンク施設として整備することとしました。
- この「施設運営計画（中間まとめ）」はアイスリンク施設として運営する際の指針となるものであり、競技団体や民間事業者等の意見を幅広く聴きながら、更なる検討を進めていきます。

○ 平成29年4月19日

【新規恒久施設の施設運営計画】

- ・東京辰巳国際水泳場については、オリンピックアクアティクスセンターとは異なる機能を有するスポーツ施設としての活用を検討

○ 平成30年11月30日

【東京都スポーツ振興審議会(第26期第11回)】

- ・「東京辰巳国際水泳場の後利用に関する検討について」公表
- ➡有力な3案（プール、アイスリンク、アリーナ）の需要予測及びコスト等を比較

○ 平成31年3月6日

【東京都スポーツ振興審議会(第27期第1回)】

- ・「東京辰巳国際水泳場の後利用に関する方向性(案)について」公表
- ➡都内に施設数が少なく、利用ニーズが高いアイスリンク施設として整備する方向性を提示

○ 平成31年3月29日

【プレス発表（東京辰巳国際水泳場の後利用について）】

- ・**アイスリンク(通年)施設**として、整備することを決定

アイスアリーナ予定地の概要・周辺図



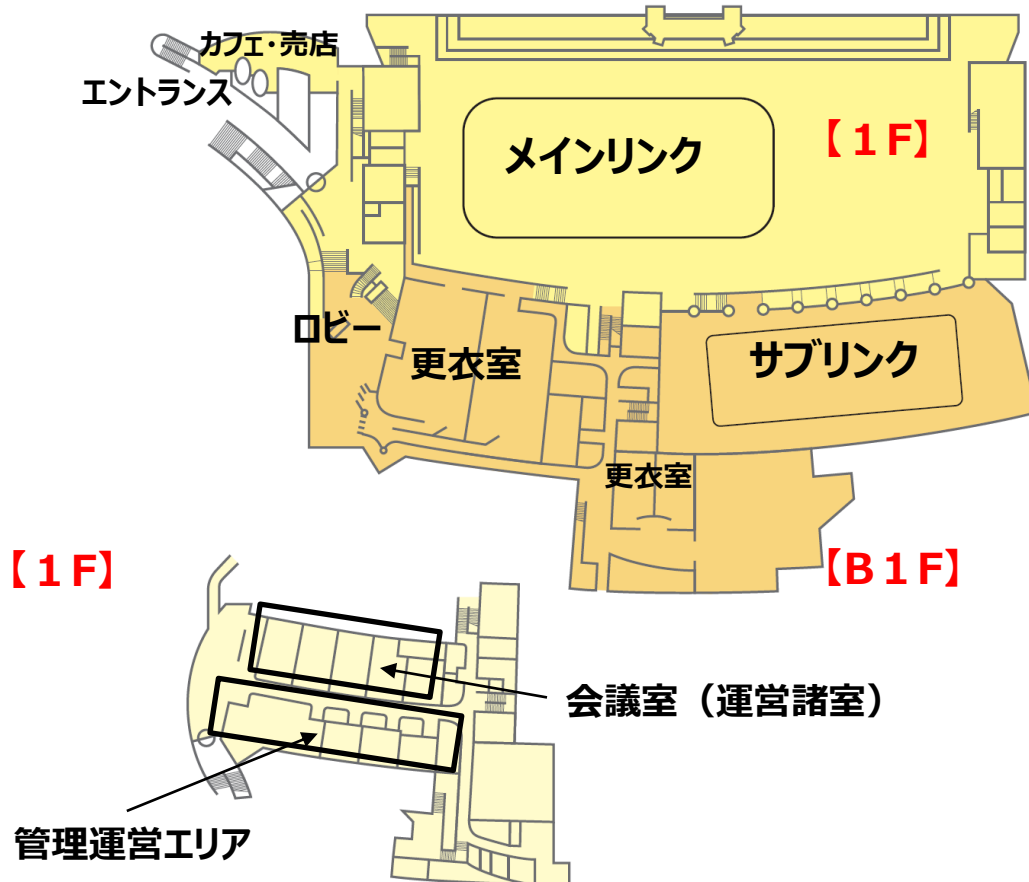
立地条件	所在地	○江東区辰巳二丁目8番10号
	周辺土地利用	○運河に囲まれたウォーターフロント地区 ○運河をはさんで東に江東区夢の島競技場が立地し、西に辰巳港湾住宅が立地 ○マルチスポーツエリアとして様々なスポーツ競技が可能
	交通アクセス	○辰巳駅下車徒歩10分 ○新木場駅下車徒歩12分 ○都営バス「辰巳駅前」下車徒歩10分

所有の状況	○土地・建物ともに東京都
上位計画等	<p>(上位計画)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○東京都「『未来の東京』戦略」(令和3年3月) ○東京都「都市づくりのグランドデザイン」(平成29年9月) ○江東区「都市計画マスタープラン」(平成23年3月) <p>(その他関係法令等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「建築基準法」「東京都海上公園条例」など <p>(用途地域)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○準工業地域

施設の概要

1 建築物概要

竣工	平成5年（令和3年現在 築28年）
階数	地下2階 地上3階
構造	鉄筋コンクリート造、一部鉄骨鉄筋コンクリート造 鉄骨立体トラス造（屋根構造）
敷地面積	22,772m ²
延床面積	22,319m ²



2 施設内容

分類	想定する施設内容
競技面	・メインリンク（60m×30m） ・サブリンク（47m×17m）
観客席	・固定席：約3,500席 ・仮設席：約1,500席
関係諸室	・会議室（運営諸室） ・カフェや売店等 ・車いす対応トイレ
その他	・省エネルギーに配慮した設備・設計



※この内容は現段階のものであり今後変更する可能性があります。

1 国際・国内競技大会の会場、競技力向上の場として活用

- フィギュア、アイスホッケー、ショートトラック、カーリング、パラアイスホッケー、車いすカーリングなどの氷上スポーツの国際大会、国内大会、都大会等の主要大会の場として活用する
- ジュニア育成教室など、都の氷上スポーツの競技力向上の場としても活用する
- 個人・団体の専用利用など、アスリートの利用ニーズを踏まえ、早朝・夜間も予約営業とし、練習環境を充実させる



2 都民が利用しやすい氷上スポーツの場の整備

- 都立初の通年リンクとして、都民が日頃から利用できる場とする
- 障害のある人もない人も、誰もが氷上スポーツを楽しむことのできる場とする
- 初心者・親子連れ対象の教室や障害のある人・高齢者も安心して参加できる教室などを開催し、誰もが氷上スポーツに親しめる場とする



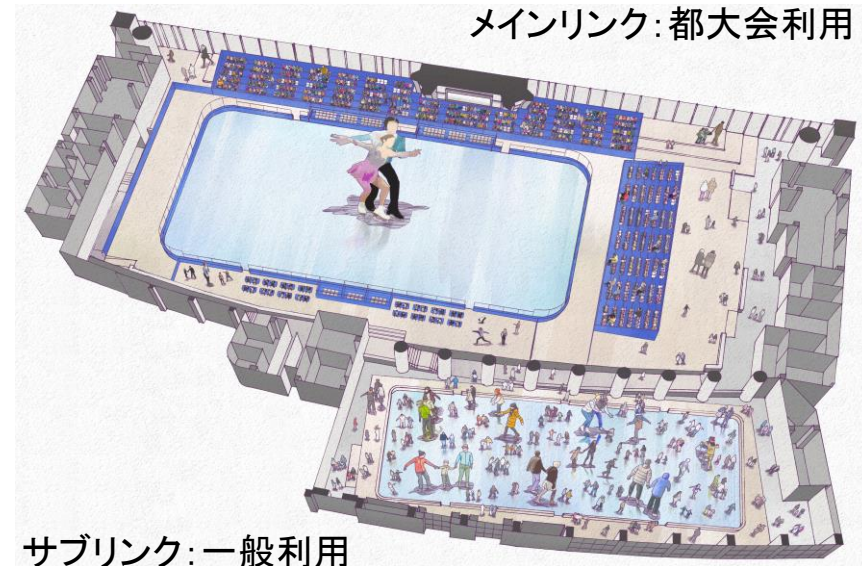
3 「観るスポーツ」を促進し、地域の活力創出に貢献

- 大規模な競技大会やアイスショー等の会場として、冬季競技の「観るスポーツ」の振興拠点としていく
- 有明アリーナなど、近隣の周辺施設と連携し国際大会を誘致するなど、マルチスポーツエリア全体の魅力向上につなげていく



4 効率的な施設運営の推進

- 興行（アイスショー）の誘致及び民間の創意工夫を生かし、施設の収益性を強化していく
- メインリンクとサブリンクへの利用者動線を分け、効率的な運営を実現する
- 環境に配慮した省エネルギー性の高い設備により、光熱水費の抑制に努める



施設の利用イメージ①

【メインリンク】

- 年間を通じた大会利用
【国際・国内大会/都大会】

- アスリートの専用利用
【個人・団体への貸出、強化合宿】

- 競技力向上の展開
【ジュニア育成教室等】

- 一般利用（個人利用）
- スポーツ教室
【スケート教室、カーリング教室等】

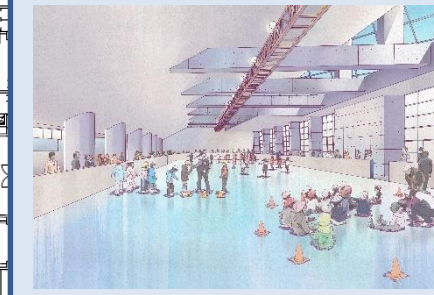
- 興行の開催
【アイスショー等】



【サブリンク】

- アスリートの専用利用
【個人・団体への貸出、強化合宿】

- 一般利用（個人利用）
- スポーツ教室
【スケート教室、カーリング教室等】
- 障害者向けスポーツ教室
【スケート入門教室、カーリング体験会等】



※現在検討中の内容であり、今後変更する場合があります。

施設の利用イメージ②

【会議室】

■ 大会利用時の運営主催者諸室
【大会運営事務局、選手控え室等】

■ 指導者育成事業
【指導者育成講習会等】

■ 興行開催時の運営主催者諸室
【運営事務局、出演者控え室等】



会議室（運営諸室）

年間

- ◎ 通年リンクとして、年間を通じて施設の有効活用を図る
 - 国際・国内競技大会の利用 <オンシーズン：10月から3月>
(年間約20大会を想定)
 - アイスショーなどの興行利用 <オンシーズン：5月から8月>
(年間約4興行を想定)
 - 大会・興行利用時以外は、年間を通じて一般利用・専用利用

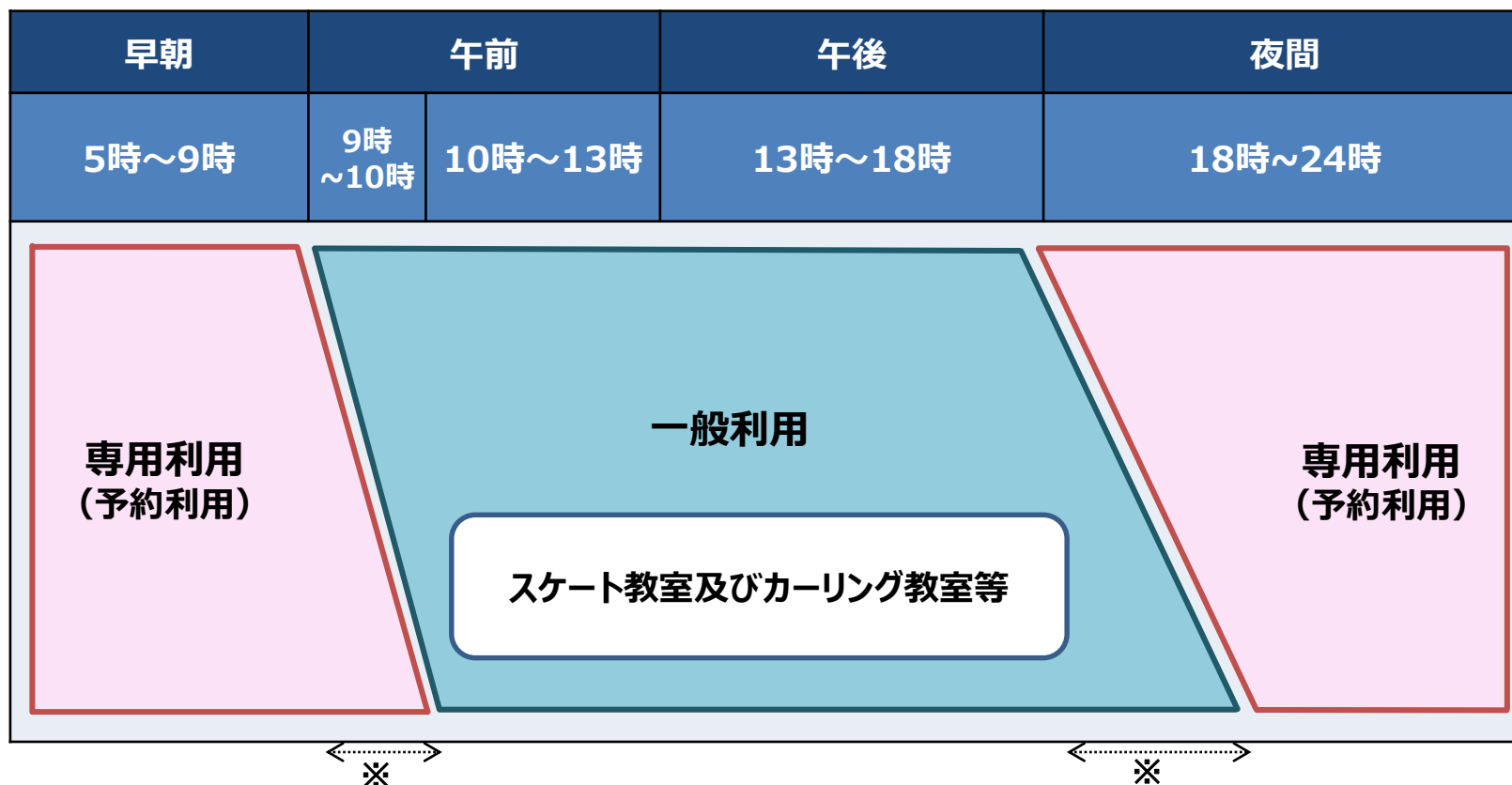
***赤太枠はオンシーズン**

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
大会利用	[オレンジ色]						国際・国内競技大会					
興行利用	[緑色]	興行利用				[緑色]						
上記以外	一般利用 / 専用利用											

1日の施設利用イメージ（大会利用等以外の場合）

1日

- 都立の体育施設であるため、大会利用等を優先し、それ以外の時間は専用利用、一般利用として運用
- 早朝・夜間の時間帯は予約営業を実施
- 一般利用の時間帯を10時～18時を原則として運用し、その他の時間帯は競技団体等による専用利用を想定



※ 9時～10時、18時～21時に専用利用の予約がなければ、一般利用に開放を想定

○ 利用者の需要予測

競技団体の大会利用、専用利用、都民の一般利用などにより、**年間約26万人の延べ利用者数を想定**

利用目的	内容	来場者目標数 (延べ人数)
大会利用 (観戦者等)	年間 約20大会 (約100日を想定) ・国際大会、国内大会及び都大会	約 8.0 万人
専用利用 (競技力向上等)	競技団体等による専用利用	約 4.1 万人
一般利用 (個人利用)	日頃から都民が、氷上スポーツに親しめる場を提供	約 8.6 万人
自主事業	スケート教室、カーリング教室等の開催	約 1.4 万人
アイスショー等の興行利用	年間 約4興行の実施	約 3.6 万人
合計		約 25.7 万人

○ 管理運営の検討

指定管理者制度による管理運営について具体的な検討を進めています

年間運営費 (概算費用－概算収入) の試算： 約1.65億円 ※早朝・夜間営業の実施による収益増等を反映

(参考) 平成31年第一回都議会定例会報告時試算：アイスリンク(1.90億円)、プール(5.83億円)、アリーナ(2.73億円)

※ 9時から21時の開場時間を前提とした試算

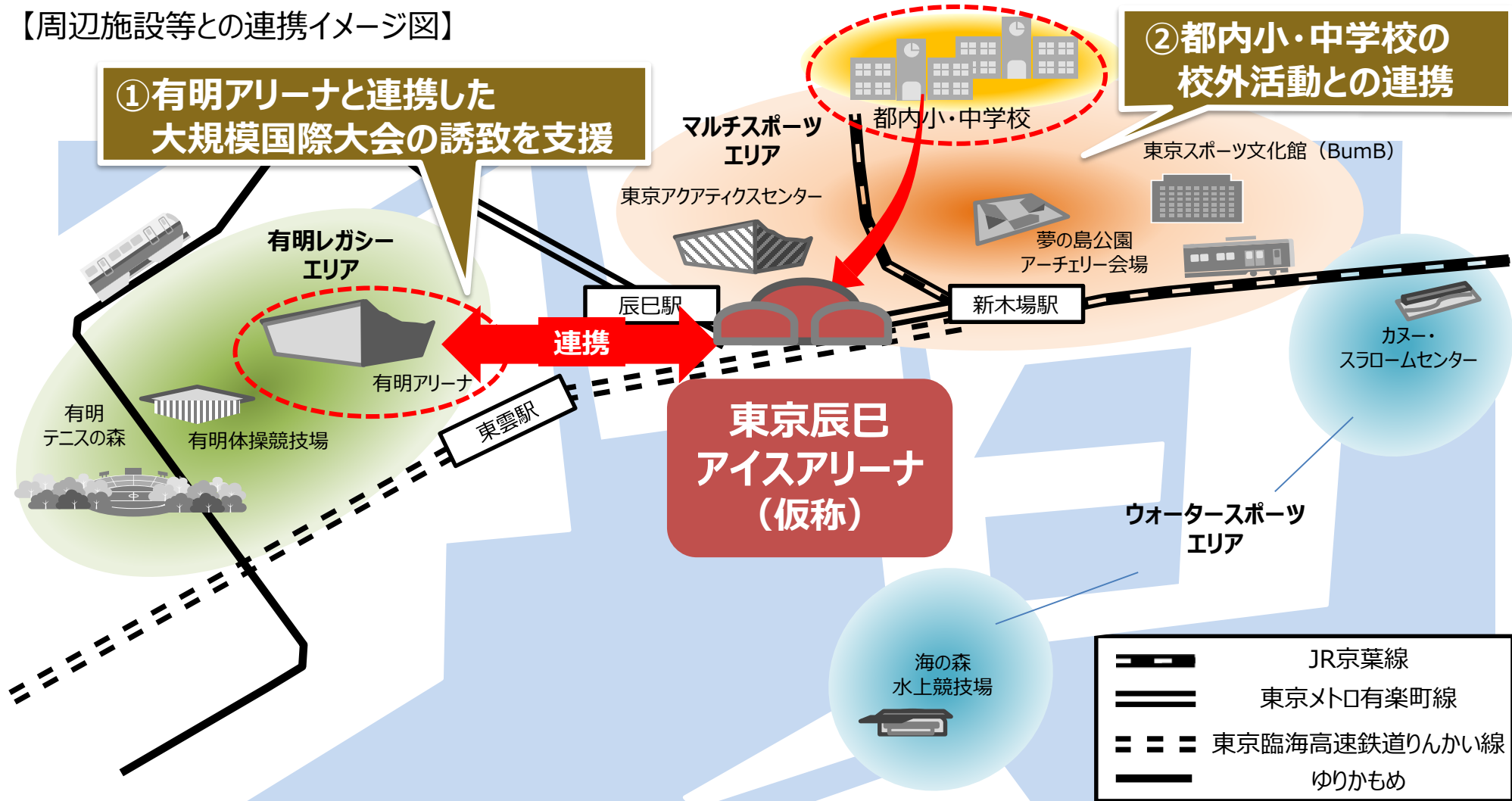
※ 今後の指定管理者選定の中で提案を募るなど、効率的な施設運営策を検討

周辺施設等との連携

都民の多様なスポーツ活動の拠点として、地域との連携や、周辺施設と連携した大規模イベント等の開催を推進する

- ①有明アリーナと連携したフィギュアスケートの国際大会等の誘致を支援
(有明アリーナはメイン会場、東京辰巳アイスアリーナ(仮称)は練習会場として利用)
- ②都内小・中学校の校外活動のため、平日等にリンクを開放し氷上スポーツの体験の場を提供

【周辺施設等との連携イメージ図】



- | | |
|-----------|--------------------|
| 令和3年9月 | ○ 施設運営計画（中間まとめ）の公表 |
| 令和3年9～10月 | ○ パブリックコメントの実施 |
| 令和3年度～ | ○ 実施設計 |
| 令和4年度 | ○ 施設運営計画の公表 |
| 令和5年度～ | ○ 改修工事 |
| 令和7年度 | ○ 開業（予定） |